

平成 22 年 11 月 5 日

各 位

会 社 名 ムトー精工 株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 田 中 肇  
 (JASDAQ・コード 7927)  
 問合せ先  
 役職・氏名 管理部門長 竹 林 隆  
 電話058-371-1100

## 平成 23 年 3 月期 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

平成 22 年 5 月 7 日の平成 22 年 3 月期決算短信 (連結) 発表時に公表した平成 23 年 3 月期 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日) の業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたします。

### 記

1. 平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)  
 (単位: 百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	9,700	660	680	550	74 円 37 銭
今回修正予想 (B)	10,300	460	380	330	44 円 67 銭
増 減 額 (B-A)	600	△200	△300	△220	—
増 減 率 (%)	6.2	△30.3	△44.1	△40.0	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	11,040	939	963	666	89 円 72 銭

2. 平成 23 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)  
 (単位: 百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	19,000	1,300	1,400	1,000	135 円 22 銭
今回修正予想 (B)	20,200	1,060	1,000	740	100 円 51 銭
増 減 額 (B-A)	1,200	△240	△400	△260	—
増 減 率 (%)	6.3	△18.5	△28.6	△26.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	22,176	1,607	1,679	928	125 円 26 銭

3. 平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)  
 (単位: 百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	5,800	60	33	170	22 円 99 銭
今回修正予想 (B)	5,600	△30	△100	14	1 円 90 銭
増 減 額 (B-A)	△200	△90	△133	△156	—
増 減 率 (%)	△3.4	—	—	△91.8	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	—	—	—	—	—

(注) なお、前期第 2 四半期累計期間個別業績については、開示をしておりませんので、記載を省略しております。

4. 平成 23 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	12,200	350	400	400	54円09銭
今回修正予想 (B)	10,800	70	100	180	24円45銭
増減額 (B-A)	△1,400	△280	△300	△220	—
増減率 (%)	△11.5	△80.0	△75.0	△55.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	13,805	503	584	188	25円44銭

5. 修正の理由

(1) 第 2 四半期累計期間業績予想の修正（平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）

第 2 四半期累計期間の連結・個別の業績予想につきましては、デジタル家電、自動車関連分野を問わず取引先の海外生産の増加および海外からの部品調達が増加したことにより国内生産が大幅な減少を余儀なくされました。

一方、海外での生産は、予想以上でありましたが、客先よりのコストダウン要求や他社との競争激化により想定利益を上げることができませんでした。

また、急激な円高による為替差損も発生したことにより、営業利益、経常利益、四半期純利益とも前回予想を下回る見込みとなりましたので、上記の通り修正いたします。

(2) 通期業績予想の修正（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

通期の連結業績につきましては、景気の先行きは依然不透明ではありますが、現時点での予想では、受注状況はおおむね予定通り推移する予定です。しかし、第 2 四半期までの業績が通期にも影響するため、通期の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益とも前回予想を下回る見込みとなりましたので、上記の通り修正いたします。

また、通期の個別業績につきましても、連結業績と同じく第 2 四半期までの業績が通期にも影響するため現時点での予想では、通期の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益とも前回予想を下回る見込みとなりましたので、上記の通り修正いたします。

6. 配当予想の修正

当社の配当方針は、配当性向が連結 1 株当たり利益の 20％を公約しておりますので、上記の業績修正に伴い、現時点では、1 株当たり年間配当金は 20円50銭と予想されます。これにより期末配当金は年間配当金 20円50銭から中間配当金 10円を差し引いた 10円50銭と修正させていただきます。また、今後の業績動向により期末配当金の額が変更となる場合は、期末配当金額が確定し次第、あらためてお知らせする予定です。

基準日	1株当たり配当金 (円)		
	第 2 四半期末	期末	年間
前回予想 (平成 22 年 5 月 7 日発表)	10円00銭	17円50銭	27円50銭
今回修正予想	10円00銭	10円50銭	20円50銭
当期実績			
前期(平成 21 年 3 月期)実績	10円00銭	15円50銭	25円50銭

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上